

オープン市場短信 (2020年7月)

2020.7.9

◆ 6月のCP市場動向

6月末のCP市場残高は23兆5,940億円と、四半期末要因により減少(前月比△6,940億円)したが、前年同月比では+5兆1,340億円と40カ月連続して増加となり、市場残高は高水準で推移している。業態別残高では、一般事業法人が9兆6,677億円(前月比△9,629億円)、その他金融が10兆820億円(同△997億円)と減少した。一方、金融機関が2兆4,161億円(同+17億円)、ABC Pが1兆4,282億円(同+3,669億円)と増加した。発行レートは、ディーラーの積極的な購入姿勢もあって低下地合いで推移し、オペの対象銘柄を中心にマイナスから0%近辺での出会いとなった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ～0.330% その他金融銘柄(a-1格) 0.000%～0.150%

【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	6月末残高	5月末残高	増 減
一般事業法人	96,677	106,306	-9,629
その他金融	100,820	101,817	-997
金融機関	24,161	24,144	17
政府系金融	0	0	0
銀行等	7,975	7,065	910
証券	16,186	17,079	-893
ABC P	14,282	10,613	3,669
計	235,940	242,880	-6,940

(注：買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+（一般事業法人）	—— ～ ——	0.000% ～ 0.001%	-0.009% ～ 0.001%
a-1（一般事業法人）	-0.009% ～ 0.000%	-0.009% ～ 0.220%	-0.009% ～ 0.330%
a-1+（リース銘柄）	—— ～ ——	-0.006% ～ 0.002%	-0.005% ～ 0.000%
a-1（リース銘柄）	0.049% ～ 0.079%	0.050% ～ 0.100%	0.000% ～ 0.150%
a-2	—— ～ ケ0.50%	0.050% ～ ケ0.75%	0.150% ～ ケ1.00%

《CPオペ》

CP等買入オペは、月間で合計1兆8,000億円（前月比+2,000億円）で実施された。月中の発行残高が24兆円台半ばから25兆円台で推移するなど、高水準の発行残による影響もあってディーラーの売却ニーズも強く、按分落札レートは回を追うごとに上昇する結果となった（4日：△0.017%、12日：△0.010%、25日：△0.003%）。

〈月末オペ残高：4兆4,376億円〉

【日銀CP等買入れオペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
6月4日	6月9日	6,000	13,780	6,000	-0.017%	-0.005%	3.9%
6月12日	6月17日	6,000	12,864	5,980	-0.010%	-0.006%	60.3%
6月25日	6月30日	6,000	13,394	5,981	-0.003%	0.000%	40.2%

《ABCP》

ABCPは、1兆4,282億円と四半期末要因で前月比+3,669億円の増加となり、前年同月比でも+213億円の増加となった。

《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、6月末時点における発行登録企業数は、住友理工が新規登録を行い530社となった。

《CP現先市場》

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

◆ 7月のCP市場動向

7月のCP発行市場は、期末要因が剥落し一般事業法人の発行再開から、期落ちを上回る発行が見込まれるため、取引活況を予想する。既に、7日時点で24兆7,121億円と、6月末の発行残高から1兆1,181億円の発行増加となっている。このため、先月29日に記録した過去最高の25兆1,716億円を上回る発行額も見込まれ、月末残高も41ヶ月連続して前年同月を上回ると思われる。発行レートは、引き続き投資家やディーラーの運用ニーズが強く、一般事業法人（a-1格付）の銘柄でマイナス～0.01%前後、その他金融の銘柄（同格付）で0%～0.01%台後半での出合いを予想する。

《CPオペ》

CP等買入オペは、17日・29日のそれぞれ6,000億円のオファー予定となっている。発行残高が高水準で推移していることもあり、ディーラーの売却ニーズも強くレートは前回比横ばい推移を予想する。

《CP現先市場》

CP現先レートは、0%近辺での出合いを予想する。

* 参考資料（出所：証券保管振替機構）

【6月末発行残高 上位10社】

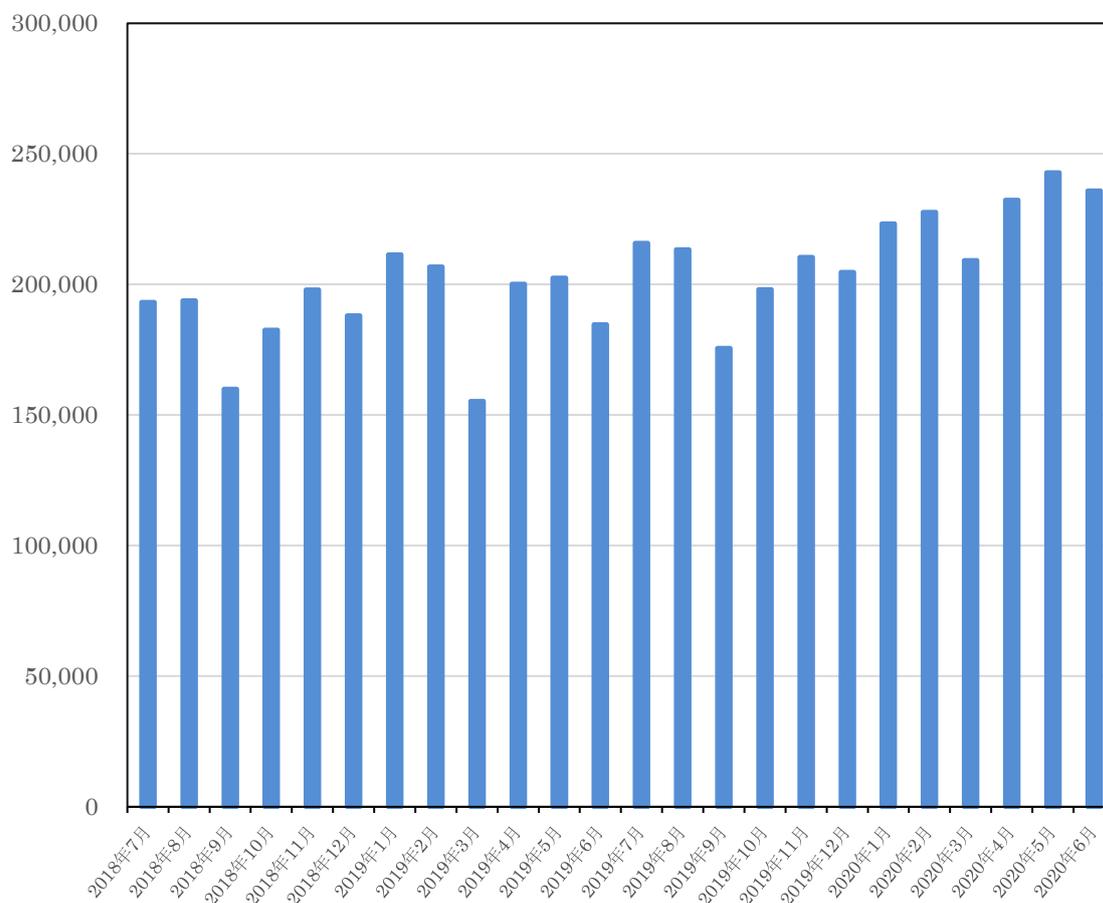
（単位：億円）

	発行企業名	6月末残高	5月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	12,930	13,390
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	10,199	10,479
3	三菱UFJリース株式会社	6,727	7,287
4	みずほリース株式会社	5,500	5,437
5	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,305	3,359
6	株式会社クレディセゾン	5,080	4,940
7	東京センチュリー株式会社	4,694	4,888
8	株式会社ジャックス	4,510	4,560
9	芙蓉総合リース	4,422	4,352
10	SMB C日興証券	4,150	3,590

【短期社債市場残高】

(2018年7月～2020年6月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会